

神奈川県 (株)ワイズ モデルハウス 湘南・土の家

ペレットストーブと

版築ヒーターのぬくもりを抱く家

湘南地域を中心に家づくりを行っているワイズ。

自然素材、なかでも土壁づくりを得意とする同社が、今秋モデルハウスをオープン。家の内外に版築を設けるなど、新たな取り組みに挑戦した。

写真・川辺明伸 文・上野裕子



上・下左：層が美しい版築の外壁。左官職人だけでなく、いろいろな人たちが参加しワークショップ形式でつくりあげたそう。 右：洗い出しの玄関ポーチ。

土でくるまれたような印象の外観。手前の版築壁の上部に光や風を通すスペースを設けている。



モデルハウス「湘南・土の家」が建つのは、海まで歩いて2分の場所にある住宅地。ワイズの山本康彦社長は「湘南エリアは土地が高いこともあり、当社で家を建てる方の8割が敷地30坪くらいです。このモデルハウスも敷地はおよそ33坪。限られた面積でどこまで暮らしやすい家が建てられるかを追求しました」。

内外に 版築を取り入れる

外観で目を引くのが、玄関ポーチの版築の壁だ。突き固めた土が層になる版築は、手間やコストがかかる

限られた敷地を有効に使うため、床座リビングを提案。キッチンやダイニングとの目線の高さを合わせるため、リビングをスキップフロアに。



リビング上部は吹き抜けになっている。リビングの丸テーブルはワイズのオリジナル。

工法のため、現代の住宅で取り入れるのは珍しい。その版築壁に囲まれたアプローチを通過して玄関へと入る。玄関の小ぶりなホールの先は、吹き抜けのあるLDKの大空間が広がる。「敷地を生かすために、外構の版築壁で囲まれたスペースまでを内部ととらえて設計しています」（山本社長）。

山本社長は、左官業界出身という経歴からも、土へのこだわりはひとしおだ。「これまでも木摺下地に砂漆喰の『木摺漆喰工法』の家を建ててきました。このモデルハウスでは、さらに一歩進んで版築を内外に取り入れたんです」。

その言葉どおり、キッチンカウンターの正面にも版築壁がある。この版築は仕上げとしてのみならず、100ミリの壁内に80℃のオイルが循環するパイプを埋め込んだ「版築ヒーター」としても機能する。「デザインのアクセントにするだけでなく、実用的な版築の使い方を提案したいと開発しました。温度と土の厚みなどを4年ほど研究して、実用化にこぎつけた第1号なんです」。

ストーブのぬくもりを蓄熱

そして、LDKのまん中にはベレ

LDKの中心にあるペレットストーブは、シモタニのもの。2社でシルバー系や黒系などの湘南仕様のカラーのペレットストーブを共同開発している。

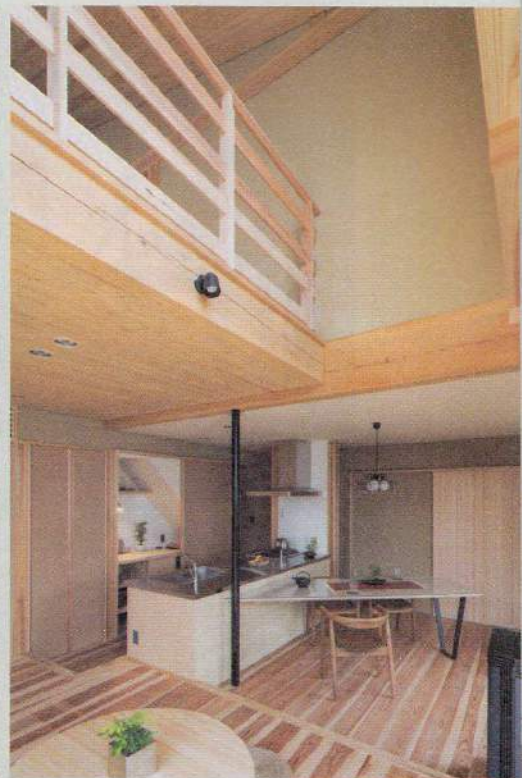


ットストーブが配置されている。山本社長は「このエリアでは、薪ストーブよりもペレットストーブが現実的なんです」と説明した上で、版築ヒーターによる相乗効果について語った。「ストーブそのものの暖かさはもちろんのこと、その正面の版築ヒーターの土がストーブの熱を蓄熱する効果もあると期待しています。ペレットストーブと版築ヒーターの輻射熱で、冬場の最適気温を維持できるのではないかと思います」。

また、このモデルハウスでは、冬

の暖かさだけでなく、夏の涼しさも重視している。「夏もエアコンに頼らずに暮らしていただきたいので、『木摺漆喰工法』に加え、風の流れにも気を使って設計しました」。

自然素材のさらなる可能性を追求した新たなモデルハウス。この心地よさを体験してもらおうと、体験宿泊にも対応している。家族で1泊しながら、内外の版築を眺め、土壁の心地よさを体感するのは、家づくりを考える人にとって、貴重な体験となることだろう。



右：キッチンを中心は、カウンターの側面を版築で仕上げた「版築ヒーター」。 左上：階段下のスペースを生かしたキッチンの収納。 左下：版築ヒーターのクローズアップ。



左：2階ホールのスタディコーナー。 右：吹き抜けから上がってくる熱を逃すため、階段上部の天井の格子の中に開口部を設けた。格子にすることによって機器類を設置できるだけでなく、光が美しく差しこみ、風も流れる。

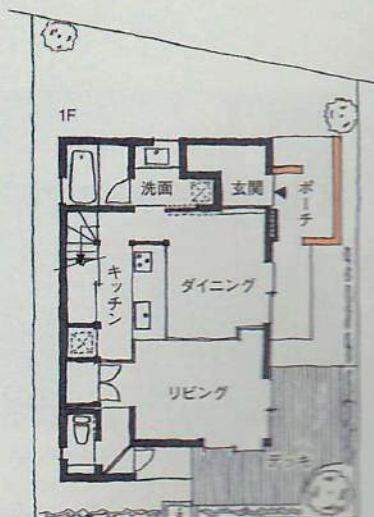
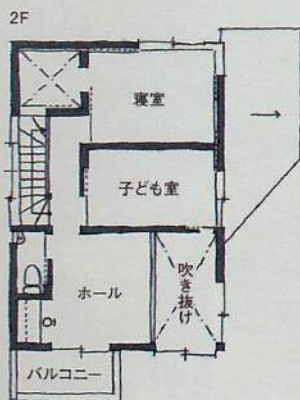
吹き抜けから1階を見下ろす。このモデルハウスでは、構造材には天然乾燥した埼玉の西川材を使用。すべて自社大工が手刻みし、伝統工法で建てている。



ポーチからデッキを見る。



左：南側外観。ここでは、土壁やペレットストーブ、版築ヒーターの温熱環境や耐久性を調べるため、二つの大学との協働で計測実験中。 右：南東のウッドデッキ。



DATA

- ★所在地——神奈川県茅ヶ崎市
- ★敷地面積——110.00㎡
- ★延床面積——90.26㎡ (1階51.35㎡ 2階38.93㎡)
- ★竣工——2015年9月
- ★設計・施工——株式会社ワズ ☎0467-88-3903
(設計担当・現場監督：山本康彦)
- ★構造形式——木造在来+伝統工法
国産(檜・杉)自然乾燥材使用 自社手刻み
- ★主な外部仕上げ
屋根—透気工法、ガルバリウム鋼板
軒天井—白亜杉、杉羽目板張り
外壁—木骨漆喰工法、オリジナル土壁仕上げ・版築壁
- ★主な内部仕上げ
天井—杉、杉目板張り
壁—木骨土壁工法、中塗土仕上げ・版築壁
床—杉、本実厚板張り